

**製品名: MARCH2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13636**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

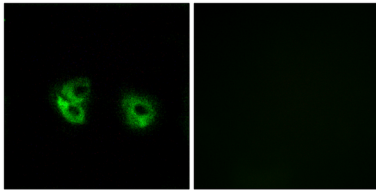
遺伝子名	RNF172
別名	MARCH2; RNF172; HSPC240; E3 ubiquitin-protein ligase MARCH2; Membrane-associated RING finger protein 2; Membrane-associated RING-CH protein II; MARCH-II; RING finger protein 172
遺伝子 ID	51257.0
SwissProt ID	Q9P0N8
免疫原	抗血清はヒト MARCH2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

**背景**

MARCH2は、膜結合型 E3 ユビキチンリガーゼ (EC 6.3.2.19) である MARCH ファミリーのメンバーです。MARCH 酵素は、基質タンパク質中の標的リジンにユビキチン (MIM 191339 参照) を付加し、それによって膜コンパートメント間の小胞輸送を促します。MARCH2 は、いくつかの糖タンパク質の表面蓄積を減らし、初期のエンドソームからトランスゴルジ体 (TGN) への輸送を制御していると思われます (Bartee et al., 2004 [PubMed 14722266]; Nakamura et al., 2005 [PubMed 15689499])。[OMIM 提供、2010 年 3 月]、注意: ここで示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから派生したものであり、予備データとして考えてください。、ドメイン:RING-CH 型ジンク フィンガー ドメインは、E3 リガーゼ活性に必要です。、機能:TFRC および CD86 のユビキチン化を媒介し、それらのエンドサイトーシスと、多小胞体によるリソソームへの選別を促進する可能性がある E3 ユビキチン タンパク質リガーゼ。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、標的基質に直接転移する。STX6 との相互作用を介してエンドソーム輸送に関与する可能性がある。、経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。、類似性: RING-CH 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、サブユニット: STX6 と相互作用する (類似性による)。MARCH3 と相互作用する。、組織特異性: 広範囲に発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



MARCH2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。